



四日市市立  
港中学校だより

# 青葉旬う

令和6年12月23日  
No.9 発行:校長

今日で2学期は最終日、今年もあと一週間ほどとなりました。思えば、2学期の始まりはまだ真夏の暑さが続き、熱中症対策をしながら体育祭の練習を行っていましたね。それが今では日に日に寒さが増し、冬本番を迎えようとしています。学期末にこの2学期を振り返って、皆さんは何を思い、何を感じましたか。体育祭や文化祭などの行事、新人戦や三泗駅伝などの大会に全力で参加した人、日々の学習やテストに力を入れて取り組んだ人、人権学習や道徳の授業で新たな気づきや発見を得た人、皆さん一人ひとりにそれぞれの経験や成長があったはずですよ。これらを自分自身の糧にして、来年も心身ともにさらに成長してほしいと願っています。12月はインフルエンザや風邪が流行しましたが、明日からの冬休みの間、健康に気をつけて過ごし、3学期にはまた元気な姿を見せてください。

保護者の皆様におかれましては、先日の三者懇談会にお越しいただきありがとうございました。また、学校アンケートへにご協力いただき、誠にありがとうございます。3学期にはアンケートに集計をお伝えする予定です。よろしくお願いいたします。

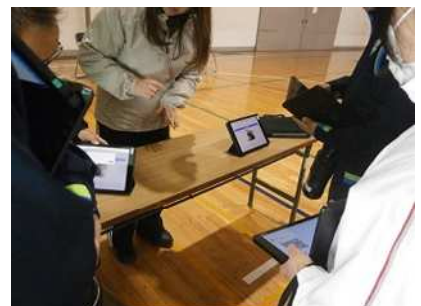
では、生徒の皆さんも保護者の皆様も、よいお年をお迎えください。

## 土曜授業〔浜田地区防災訓練～避難訓練〕12/7(土)

本校では毎年、土曜授業として浜田地区自主防災連絡協議会の方々が主催する「浜田地区防災訓練」に参加しています。今年度は12月7日に本校の体育館を会場にして訓練が行われました。今年度の内容は「避難所運営」です。近年頻発する災害への備えとして、地域の方と協同して、次のような訓練が行われました

### 〔避難所入退所管理システムの実験〕

いざ災害が起こり、避難所が設営されると、避難者の名簿作成や出入りの確認が非常に重要になります。そこで今回、三重大学の川口教授と共同で、QRコードで入退所を管理・確認する装置を導入し、実験・体験を行いました。体験を希望する生徒の皆さんや地域の方は、あらかじめシステムへの登録を行い、スマートフォンやタブレットにQRコードを表示して避難所である体育館へ入場しました。受付にあるカメラに自分のQRコードを読み取らせることで、誰が避難所にいるのか、いつ外出したのかなどが記録されます。最初は装置がうまく働いていませんでしたが、動き出すととてもスムーズに受付が進みました。



### 〔簡易トイレの設置体験〕

港中学校には屋外と校舎3階に防災倉庫があり、様々な物品が保管されています。今回はその中の「簡易トイレ」を実際に組み立てる体験をしました。トイレの便座だけでなく、目隠し用のテントもあり、設置するにはある程度の時間が必要ですが、避難者を代表して本校の生徒が何人か設置の体験をさせていただきました。



### 〔炊き出し訓練〕

体育館での訓練と並行して、炊き出しの訓練も行われました。非常食のアルファ米をその場で沸かしたお湯で戻し、食べられるようにします。出来上がったのはアルファ米のわかめご飯です。ごはんは参加した地域の方や本校の生徒に配布され、生徒たちは訓練後、それを昼食として教室でいただきました。



浜田地区の防災訓練は午前中で終了し、午後からは、港中学校の避難訓練を行いました。今回は掃除の時間に地震が起こったとの想定で、生徒の皆さんはまず、それぞれの掃除場所で身の安全を確保し、そのあと校内の各場所から集合場所のグラウンドを目指して避難をしました。

災害はいつ、どこで起こるかわかりません。この日の様々な訓練で学んだことを合わせて、防災への意識を高めていきましょう。



### 「人権講演会」を開催しました

「世界人権デー」の12月10日（火）、午後の授業に浜田小学校の6年生を招き、「人権講演会」を開催しました。講演会の講師は「長嶋 りょうがん」さんです。りょうがんさんは20数年前、保健体育の教師として港中学校に勤務されていたご経験があります。その時に作詞作曲された「See You Again」は本校の卒業式で式歌として歌い継がれています。講演会では自身の経験をもとにした反差別、反いじめのお話に加えて、

「See You Again」を含めた4曲をギターやピアノの弾き語りで披露していただきました。歌とお話に引き込まれ、1時間があっという間に過ぎていった講演会でした。

